

医薬品安全管理研修会 2015 年度冬期

テーマ： 医薬品安全管理の新たな課題

(第1回) 会期 2016年1月7日(木) 午前10時～午後4時、 受付開始:午前9時
(第2回) 会期 2016年1月8日(金) 午前9時～午前12時、 受付開始:午前8時30分

会場： 東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階ホール (東京都文京区本郷 7-3-1)

厚生労働省 2007年3月26日省令により、薬局開設者はその従業員に対し、医薬品安全管理上の指定課題に関する年2回程度の教育研修会の開催を義務されました。本セミナーは、各病院薬剤部や薬局開設者による医薬品安全管理研修会に対し、基礎となる参考資料を提供するものです。参加者には2日分の受講証をお渡しします。

受講対象者： 国際医療リスクマネジメント学会ないし日本医療安全学会の会員、医薬品安全管理者、薬剤師、医師、看護師、医薬品製造・輸入・販売業者、その他

プログラム

2016年1月7日(木)

午前10時～午前10時50分	特別セッション(新規薬剤・特定薬剤管理)	新規C型肝炎治療薬の適正使用について
	滝川 一	(帝京大学附属病院消化器内科教授、日本肝臓学会C型肝炎治療ガイドライン作成委員会委員長)
午前11時～午前11時50分	臨床におけるリスクガバナンスの基本	
	酒井 亮二	(国際医療リスクマネジメント学会理事長)
午後1時～午後1時50分	抗がん剤の環境汚染の防止策	
	橋田 亨	(神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部長、院長補佐)
午後2時～午後2時50分	病棟における医薬品情報の共有と薬剤師による介入事例	
	大野 能之	(東京大学医学部附属病院薬剤部副薬剤部長、医薬品安全管理責任者)
午後3時～午後4時	看護の立場から見た病棟薬剤業務実施加算 - 医薬品安全に関わる病棟薬剤師常駐の効果-	
	新村 美佐香	(菊名記念病院医療安全管理室室長)

2016年1月8日(金)

午前9時～午前9時50分	在宅医療での注射薬調製のポイント	
	杉浦 宗敏	(東京薬科大学薬学部教授)
午前10時～午前12時	シンポジウム 「在宅医療における医薬品安全管理での薬局の現状と今後のあり方」	
(座長)	清野敏一	(帝京平成薬科大学教授、前東大病院医薬品安全管理者)
	高瀬 義昌	(医療法人社団至高会 たかせクリニック理事長)
	杉浦 伸一	(名大医学教育研究支援センター医療行政学特任准教授)
	榊原 幹夫	(公益財団法人 杉浦記念財団 事務局長)

参加申込締め切り： 2015年12月29日

定数(600名)になり次第に、申込受付を閉め切ります。

参加申し込み方法： 下記のホームページをご覧ください。参加費を掲載しています。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部
(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
(電子メール) head.office01@iarmm.org
(Tel/Fax) 03-3817-6770

ホームページ <http://www.iarmm.org/J/DRUG2016Jan/>